



会津美里町立新鶴中学校

学校通信

2018年1月24日発行 文責：校長 岩澤一徳

「家庭学習スタンダード」!

子どもたちの家庭学習を充実させるために

先日15日に、「ふくしまの『家庭学習スタンダード』というリーフレットをお渡ししました。県内の全家庭と全教職員へ配付されています。

生徒が夢を実現させるためには、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させることも大切になってきます。このリーフレットには「**自己マネジメント力**」を育むために、学校や家庭・地域が果たすべき役割などが書かれてあります。

内容は、「学校の取り組み」「期待する子どもの姿」「『自己マネジメント力』を育む家庭・地域の関わり」「家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点」に分かれており、分かりやすくまとめられています。ぜひじっくりとご覧ください。

「学校の取り組み」が十分とは言えない面もありますので、さらに改善し充実させて行きたいと思えます。各ご家庭でもリーフレット見開きページの下段に示してある3つのことをお願いしたいと思います。



(1) 「心の支え」

(自分の良さを自覚したり将来の目標を意識できる親子のコミュニケーション、努力の過程を認める、学校と連携、自分の成功談・失敗談を話す、など)

(2) 「環境づくり」

(TVを消す・ゲームやスマホを預かる等の学習環境、地域行事・本・新聞記事などの紹介、体験、など)

(3) 「習慣づくり」

(規則正しい生活を家族全員で! →起床・就寝・学習の時刻の確立、やるべきことに気づかせる、など)

今年度、例えば宿題の量や内容について教員間で話し合い、長期休業や日々の宿題・課題を調整したことがありました。他にも、期末テスト前にまず学校で自習をして下校させる「学習会」を実施したりしました。しかし、結局は“自分の力で”切り開いていけるかどうか、自由度の高い家庭学習において自ら改善していけるかがカギと言えます。苦手なことを見つけて取り組んだり、興味あることを自分で調べたり、考えたことを表現したりすることができる力こそ大切なのだと思えます。

中学生の時期、思春期ともいわれるこの時期はご苦労が多いことと思えますが、子どもたちが豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していけるように、学校と家庭が連携協力しながら子どもを支え、導いてまいりたいと思えます。ご理解ご協力をよろしくお願いたします。